

ワクワクポイントで 積丹町の宝を掘り起こす！ ～DAOと地域通貨で地域経済を循環させる～

目次

- ・ P2～ 積丹町の概要
- ・ P3～ 現状
- ・ P4～ 課題
- ・ P6～ 政策提案の概要と背景
- ・ P8～ デジタル地域通貨について
- ・ P12～ DAOについて
- ・ P15～ プラットフォームについて
- ・ P16～ ビジネスモデル
- ・ P17～ 実現した場合の効果・影響
- ・ P18 政策アイデアのポイント

積丹町の概要

人口

1,874人



(2022年7月31日時点)

**積丹町には“ワクワク”する
自然やアクティビティが
眠っている！**

面積

238.14km²



出典:積丹役場HP

觀光資源

岬の湯しゃこたん

神威山甲

黄金岬

ジン

SUP

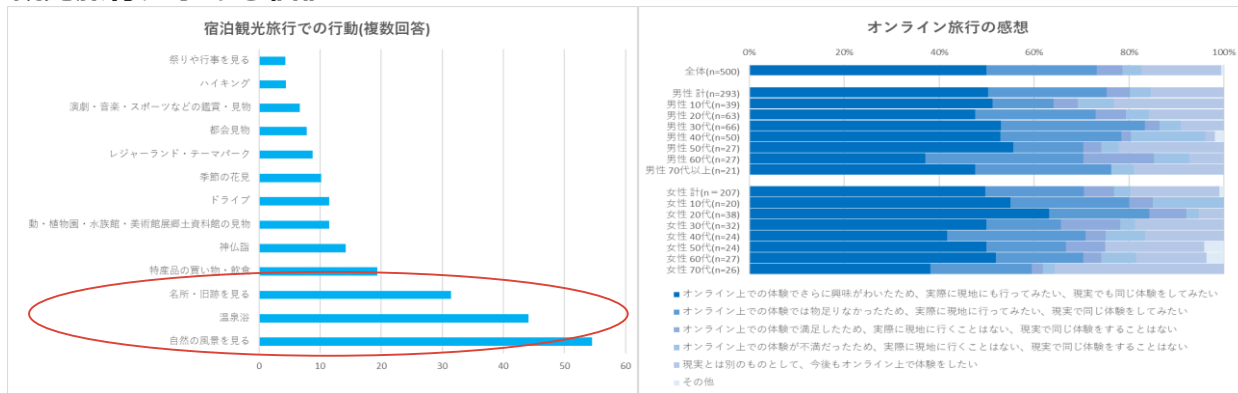
ウニ

積丹神威クルーズ
島武意海岸



現状:観光客の動向

観光旅行に求める価値は？



出典:『令和3年度版 観光の実態と志向』より制作

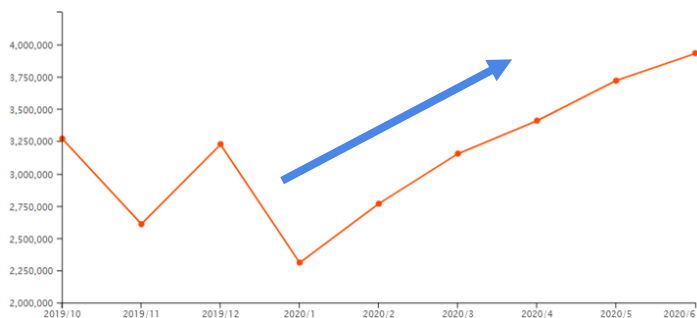
☑観光客は旅行先での実際の「体験」に価値を見出している



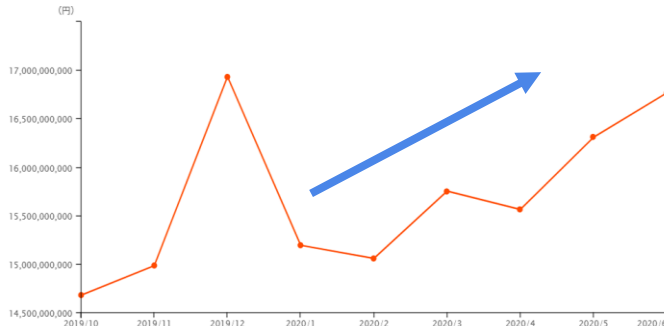
現状では「体験」の価値を可視化できていない

現状：キャッシュレス決済の状況

積丹町全体のその他電子マネー決済金額の推移



北海道全体のその他電子マネー決済金額の推移



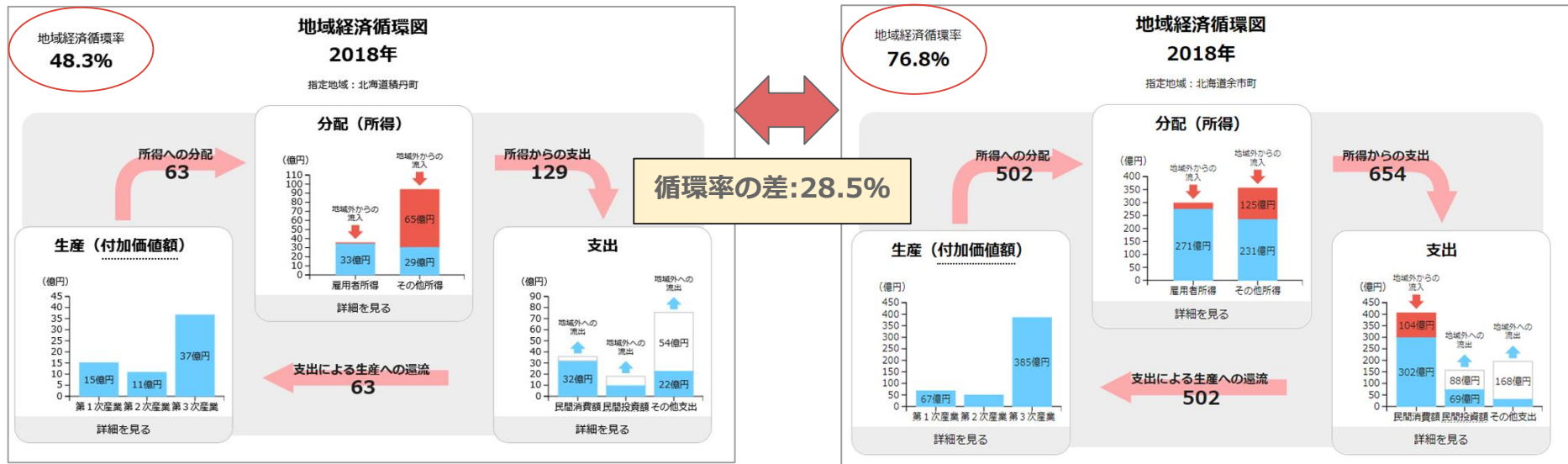
☑キャッシュレス決済が道内・積丹町内で伸びている

※「その他電子マネー等」：交通系IC、nanaco、WAON、楽天Edy、iD、QUICPay、J-Debit、BankPay、その他電子マネー

出典:RESAS

課題①：地域経済循環の低さ

積丹町と余市町の地域経済循環比較



出典：RESAS

<読み取れること(対余市町比)>

- ✓生産においては、積丹町は第一次産業の割合が高い
- ✓分配においては、その他の所得での地域外からの流入が高く、地域産業の稼ぐ所得は雇用者所得・その他の所得の両者とも少ない
- ✓支出においては、民間消費額の地域外への支出が大きく地域外からの流入が全くない

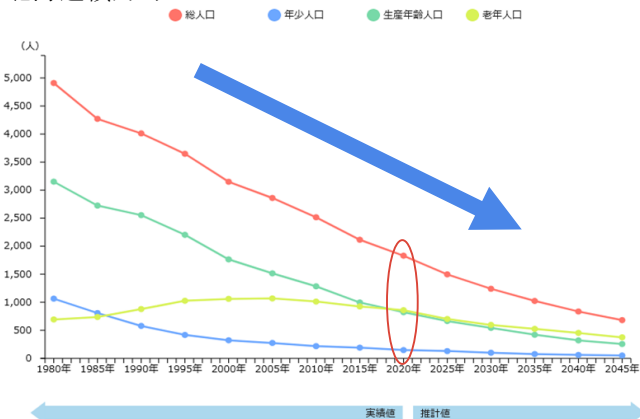
課題

- ✓積丹町は余市町に比べ観光資源に対する地域経済循環率が低い
- ✓特に支出における地域外からの流入がかなり少ない

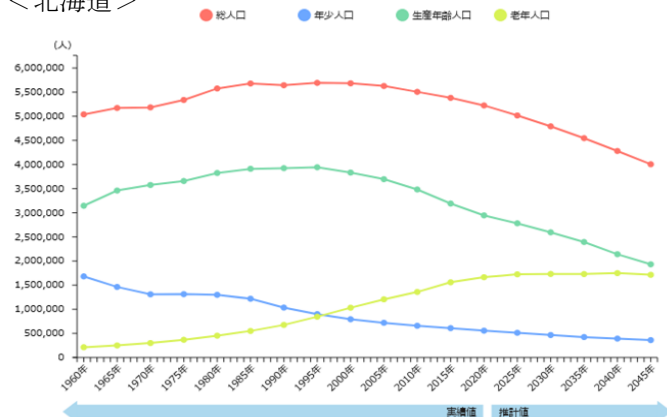
課題②:人口減少

北海道と積丹町の人口推移比較

<北海道積丹町>



<北海道>



積丹町の出生数・死亡数／転入数・転出数の推移



出典: RESAS

<読み取れること>

- ☑ 2020年における生産年齢人口と老年人口が同じである
- ☑ 北海道の人口推移が横ばいなのに対して、積丹の人口推移は減少傾向をたどっている
- ☑ 積丹町の転入数と転出数の推移を見ると、転出数と転入数の差が開いている

<課題>

- ☑ 人口減少率が高い (対北海道比較)
- ☑ 高齢化の進行が早い
- ☑ 転入数 < 転出数

政策提案の概要

<提案内容>

- ・ **デジタル地域通貨・DAO・プラットフォーム**の3つの機能を搭載したアプリで、**関係人口創出&地域経済循環の向上**を目指す
- ・ 積丹を訪れた人の**ワクワク度**を数値化することで、「感動」に価値を付ける

Q. どうしてDAO？

A. DAOの「ユーザーが主体性に組織の運営・意思決定に関わる」「他のユーザーと交流できる」という特性を用いることで、**質の高い**関係人口の創出を可能にする

Q. どうして地域通貨？

A. 「価値創造手段」の機能を持つ地域通貨によって、**ワクワクの可視化・流通を実現できるから**

課題	人口減少	地域経済循環の低さ
目標	関係人口創出	積丹内の支出額の増加
アプローチ方法	DAO ・ プラットフォーム	デジタル地域通貨

政策提案の背景

積丹の魅力を探しに訪問

→様々なアクティビティ、自然、景色、人との交流の“体験”に

“ワクワク”した

→この“ワクワク”こそ、積丹の雄大な自然や積丹に関わる熱意溢れる人たちからしか得られない最大の資源だと認識

SUP



E-bike



神威岬



デジタル地域通貨：①地域通貨とは

地域通貨とは

法定通貨ではないが、ある目的や地域のコミュニティ内などで、法定通貨と同等の価値あるいは全く異なる価値があるものとして発行され使用される貨幣

通貨の機能

①決済手段



②価値尺度



③価値貯蔵



④徴税手段



地域通貨の機能

⑤価値創造手段



でも、価値創造するにおいて何を尺度とすればよいのか？



価値創造手段とは

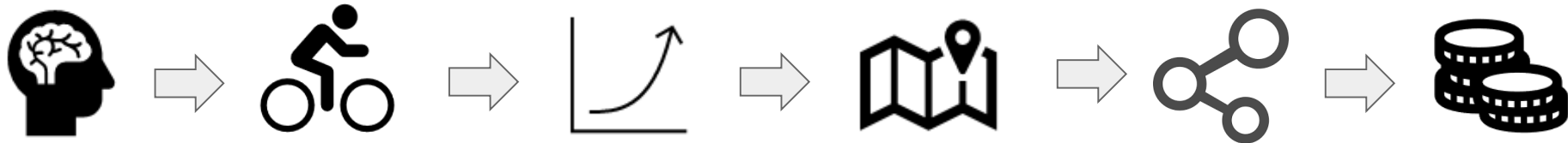
今まで価値を付与できなかったもの(自然/文化など)を地域通貨により測定し、新たな価値を創出可能にする

積丹のワクワク度を
最新の研究を使って数値化し
地域通貨と掛け合わせる！

デジタル地域通貨：②ワクワク度

ワクワク度の計測と流れ

- ①計測器を積丹で受け取る ②アクティビティ体験 ③ワクワク度上昇 ④ワクワク度の増加量と位置が記録 ⑤アプリ内で共有される ⑥地域通貨付与



ワクワク度×地域通貨で価値の可視化を実現する

技術面

=広島大学 脳・こころ・感性科学研究センターの最新研究=

快・活性・期待という3つの心理主観軸から「ワクワク度」をモデル化

→DSJ(電通サイエンスジャム)が開発した脳波計測器で感性変化が評価可能に

計測の様子



デジタル地域通貨：③ビジネスモデル

企業・利用者間

企業側はその地域に根差した商品・サービスを提供。利用者はWPを使い、それを体験。

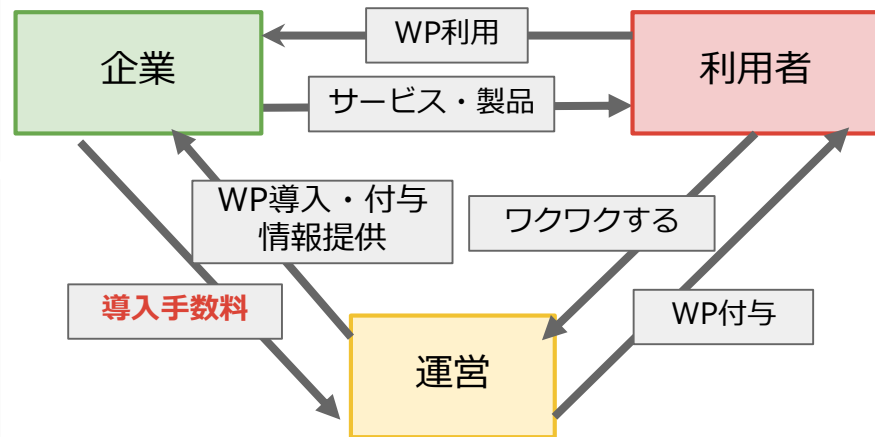
企業・運営間

企業側は運営にWP導入手数料を支払う。運営側はこれを収入源とする。運営側は企業にWPを付与すると共に利用者のワクワク度平均などの情報を提供。

利用者・運営間

自然や景色などの体験を通じた利用者のワクワク度に応じて、WPを付与する。

デジタル地域通貨のビジネスモデル



<メリット>

企業側：顧客の確保、顧客の自社サービスに対するワクワク平均度などの情報の獲得

利用者側：様々な人がワクワク度に応じたWPを獲得、WPを使い積丹内の商品やサービスを受けられる



地域経済循環率を向上させることができる
→支出における地域外からの流入が見込める

地域通貨＝「ワクワクポイント(WP)」

デジタル地域通貨：④ワクワクポイント循環図

企業者・利用者間

利用者はWPを使用し、製品・サービスを体験可能。
企業は利用者のワクワク度に応じてWPを付与。

また、利用者から得られたWPを広告等を使用。

企業・運営間

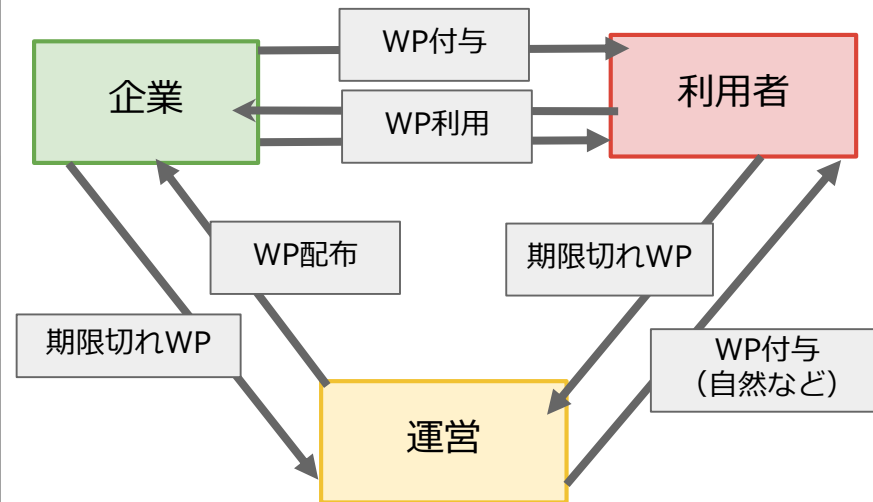
運営は利用者へ配布するためのWPを企業へ配布。

また、期限が切れたWPを企業から回収。

利用者・運営間

運営は利用者の期限切れのWPを回収。

利用者は、自然や景色などに対してワクワクした際、
運営からWPが付与される。

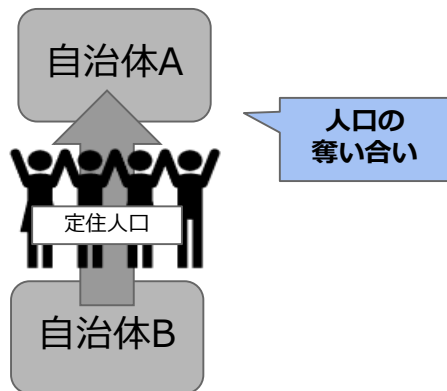


- ・ WPは利用者の積丹訪問、体験や商品購買の動機となるため、WPの循環・流通によって関係人口による**地域外からの流入**が増え、**地域経済循環率が向上し**、**地域全体が活性化**する
- ・ 企業と利用者間でWP付与・利用の循環により交流が生まれ、**関係人口の質が向上**する

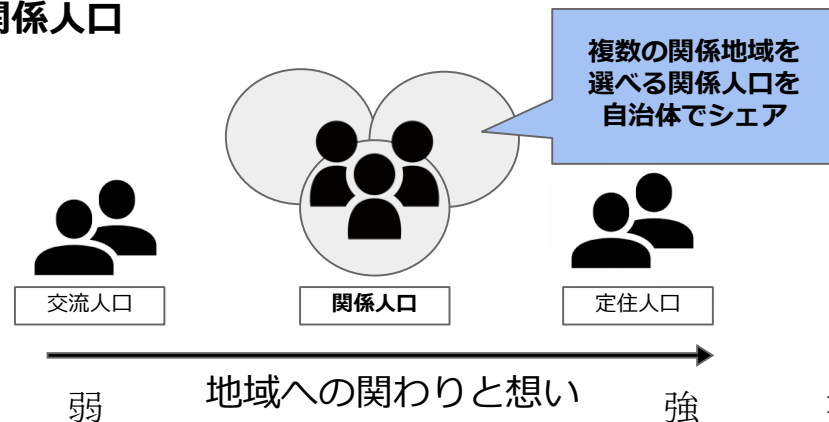
DAO : ①関係人口

- ・ 移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々
- ・ 日本全体という**マクロな視点**で見たとき、人口減少は共通の課題であるため、定住人口の奪い合いは人口減少の解決策にはならない
- ・ 住民と**協働**して地域の課題を解決する仲間である = **量より質**
- ・ 関係人口の増加→地域の担い手としての活躍にとどまらず、地域住民との交流が**新たな価値**や**イノベーション**を生み、**内発的发展**につながる。また、**将来的な移住者の増加**にもつながる

ゼロサム問題



関係人口



DAO : ②DAOの活用

DAOの特徴

- ・中央管理者がおらず、参加者同士で管理
- ・透明性が高く、誰でもソースを閲覧できる
- ・ユーザーがサービスに主体的に関与し、プロジェクトを遂行

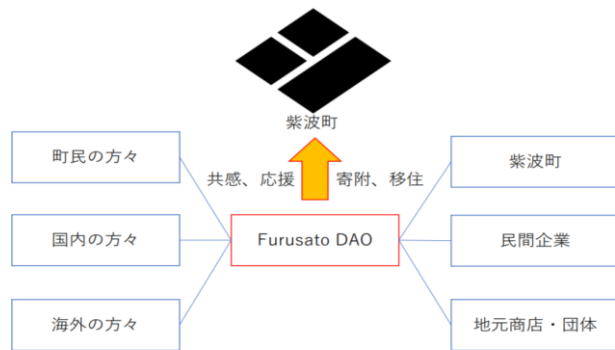


新しい地方創生 = DAO

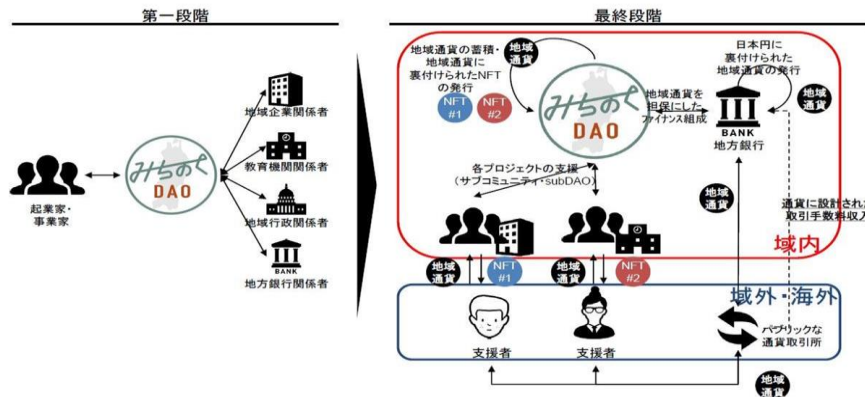


事例：DAO×地方創生の挑戦

岩手県紫波町×DAO/みちのくDAO



地域(紫波町)に愛着を持った多様な人材が地域を超えて結びつき、地域課題の解決や持続可能なまちづくりを目指す
(具体的施策：新型地域通貨×ふるさと納税、Web3技術に取り組む企業の誘致など)



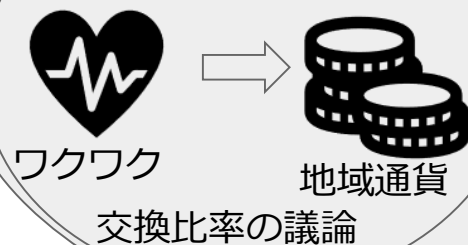
出典：『Web3タウンの表明について』

起業家・事業家×各関係者×海外投資家を結び付け、地域通貨の経済循環ネットワークを実現@東北

DAO : ③ ビジネスモデル

DAOコミュニティ

① 地域通貨の運営



DAO参加者(地域通貨を保持した人達)によって
地域課題に対して平等な意思決定をもたらす

② 積丹に関する プロジェクトの提案・実行



プロジェクト具体例①
冬の積丹町のツアー計画
→冬季観光客の増加を図る

プロジェクト具体例②
シャコタニアンTシャツデザイン大会
→積丹の製品に関わり知ってもらう

参加者全員が平等な立場で運営することで、地域内外問わず交流を図る
→関係人口の創出につなげる

プラットフォーム：ビジネスモデル

■ **口コミ投稿**を通じ、利用者同士・企業と利用者でコミュニケーションを取ることが可能

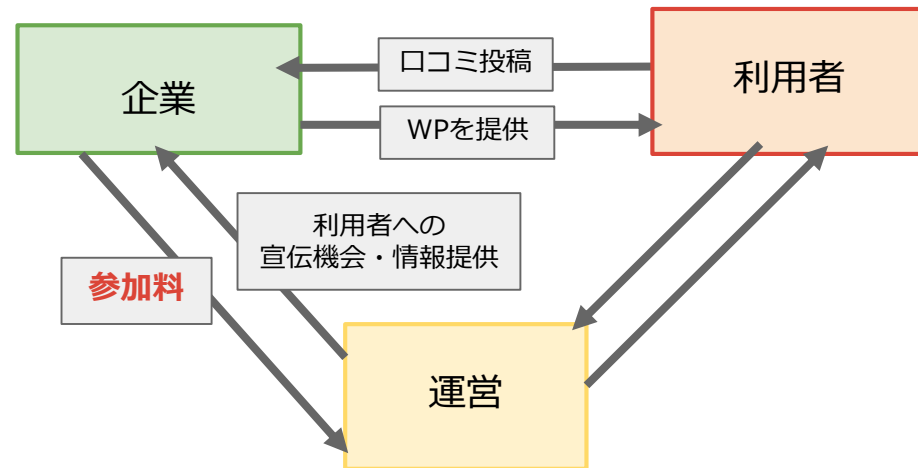
企業・利用者間

利用者が積丹で提供されるアクティビティやグルメの情報・感想を口コミ投稿することで企業は利用者の声を聞くことができる

企業・運営間

企業側は運営側に参加料を支払う、運営側はそれに対し利用者の口コミを提供

プラットフォームのビジネスモデル



<メリット>

企業側：利用者の口コミが商品・サービスの向上に繋がる
利用者側：口コミ投稿により地域通貨を獲得できる



利用者と企業の交流を深めることで
関係人口の創出を図る

ビジネスモデル：収益獲得方法

<費用>

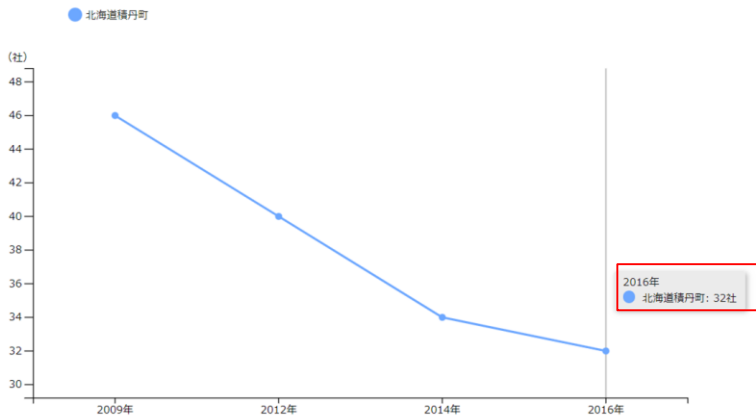
ワクワク度測定機器購入	108,000,000円（18万円×600台）
アプリ開発費	6,629,600円
サーバー費	240,000円/年
SSL費用(維持管理費)	80,000円/年
運営費	1,000,000円(開発費の15%)
合計費用	115,949,600円

<売上>

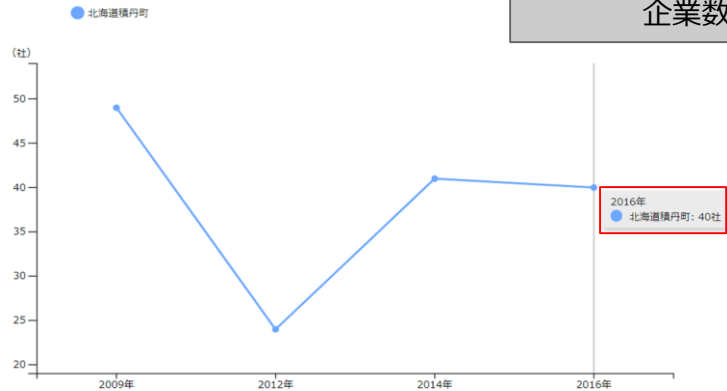
地域通貨の導入手数料	1%(月末の付加価値総額＝利益に対して)＝120,000,000円/年
プラットフォームの参加料:	120,000円/年×70社
アプリ内広告	120,000円/月×70社 (月の表示回数を設定したうえで契約、インプレッション型)
合計売上	129,240,000円

<積丹の企業数(2016)>

産業：卸売業、小売業 > すべての中分類



産業：宿泊業、飲食サービス業 > すべての中分類



卸売・小売、飲食サービス業
企業数合計：約70社

収益＝129,240,000-115,949,600＝**13,290,400円(/年)**

実現した場合の効果・影響

<社会情勢>

ワクワクの測定 通貨への変換

- ・今まで価値の付けられなかったものに対して**価値を見出す**→**新たな経済効果**

DAO

- ・自治体のプロジェクトの意思決定、地域通貨の運営方法の**新たなモデル**となる

他の自治体への普及

- ・町の強みが**可視化**されることでそれぞれの地域に**競争意識**を持たせ、よりよいまちづくりの促進が将来的に期待される

<積丹>

関係人口の増加

- ・積丹の**内的発展**
- ・**地域活性化**
- ・将来的な**移住者増加**見込み

DAO

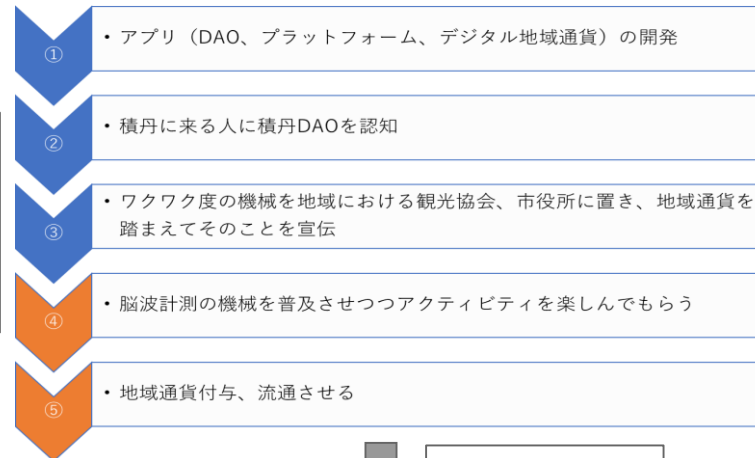
- ・他地域のDAO参加者に**体験共有**→参加者の**積丹への興味度の向上**

地域通貨の導入

- ・**地域経済循環の改善**
- ・体験の価値としての**可視化**

<実現可能性>

実装段階



④⑤を循環

地域経済循環率を高め、流入観光客数だけでなく、遠くからでも関わりたいという人口を増やすことができる。

政策アイデアのポイント

項目	評価ポイント	要件充足の検証	記述箇所
データを読む・データを説明する	・RESAS・V-RESAS等のデータを活用して分析データや対象地域の概要を把握できているか ・全国や他地域と比較した対象地域の強みを説明できているか ・対象地域の課題を説明できているか	RESASのデータを用いて、観光客の動向・地域経済循環・人口推移を分析することで積丹の現状を把握しています 分析結果に基づき、季節による観光客数のバラつき、地域経済循環の低さ、人口減少等の地域課題を明確にしています	P5-8
データを扱う	・伝えたいことに応じて適切なデータを選択しているか ・複数のデータを活用した分析が出来ているか ・データ・グラフ表現等の可視化を工夫しているか	目的に応じて文献や研究資料など、RESAS以外のデータも活用しています RESASを使って示したデータは、必要に応じて積丹と北海道のものを比較しています	P5-8
データによって判断する	・対象地域の先行する取組みを調査・分析しているか ・先行する他地域の類似事例を調査・分析しているか ・分析したデータや地域特性を踏まえた政策となっているか ・提案する政策についてデータを活用した検証が行われており、地域の地方創生に資する有効性が高い政策となっているか	WEB3についての社会予測を調査・分析しています DAOの活用において他の自治体の類似事例を調査しています 関係人口の有効性について、日本全体のマクロな視点から人口減少問題を含めて分析し、有効性を示しています 実現可能性において、広島大学の研究を引用して技術面から、また、実装段階の面から実現性を示しています	P3,4,6,9,17
官民連携	・地方公共団体や民間事業主体等、地域全体を巻き込んだ調査、分析や政策提案が含まれているか	政策提案において積丹内の企業との連携を図っています	P13,P15